

異議あり! 4月28日 「主権回復の日」

安倍政権は、本日、大きな反対世論があるにもかかわらず、サンフランシスコ講和条約・日米安保条約が発効した4月28日を、「主権回復の日」などとして、記念式典を強行しようとしています。私たちは、この日を「主権回復」の日などと美化する記念式典に断固抗議するものです。

安倍政権の恥すべき態度

1952年4月28日は、沖縄等をひき続き米国の全面占領下に置き続けることを決定した「屈辱の日」です。(同時に、千島列島を放棄、ソ連の不当占領認める)

とりわけ沖縄は、その後20年間にわたって米軍の占領下におかれ、米軍は「銃剣とブルドーザー」で県民の土地を強奪し、傍若無人の振る舞いによって県民の人権を蹂躪し続けました。

沖縄返還後も、ひき続き膨大な米軍基地がおかれ続け、無法な戦争の出撃拠点とされ、沖縄県民は今も米軍の被害に苦しみ続けています。

安倍政権は、沖縄県民の総意を踏みにじって、オスプレイの配備と最新鋭の米軍基地建設を強行しようとしています。

米国言いなりの属国的態度をとり続けながら、この屈辱の日を「主権回復」の日などと偽り、記念式典を行うなどは、許されるものではありません。

戦争と貧困の根源

4月28日は、日本国憲法の平和原則を踏みにじり、日米安保条約を結んで、日本を米国の軍事同盟に組み込み、日本を再軍備させる転機となった日です。

夜中のオスプレイ飛行訓練。日米間の約束は簡単に破られている。



真の米軍基地撤去を・安保廃棄で



校庭で遊ぶ子どもたちの頭上を、覆いかぶさるように着陸進入する米軍機＝2010年6月22日、沖縄県宜野湾市の普天間第二小学校

在日米軍による事件・事故 (1952年～2010年)

件数：20万8029件
日本人死者：1088人
※復帰前の沖縄を除く 国会提出資料



海兵隊では、兵士を殺人マシンに変える訓練が日々...

だからこそ、講和条約は、特定の国との片面講和条約とし、日米安保条約の調印は、国民には全く知らせることなく行われたのです。(裏面参照)

日米安保条約こそ、米軍基地を日本全土に置き続け、自衛隊を増強し、米国の戦争に自衛隊を参戦させるために憲法改悪をめざす動きの根源となっているのです。

また、原発推進、TPP交渉参加、消費税増税などを強行し、国民に計り知れない困難を押しつけている根源も日米安保条約です。

米軍基地撤去・安保条約廃棄で、真の主権を回復するために世論を大きくしましょう。

これが

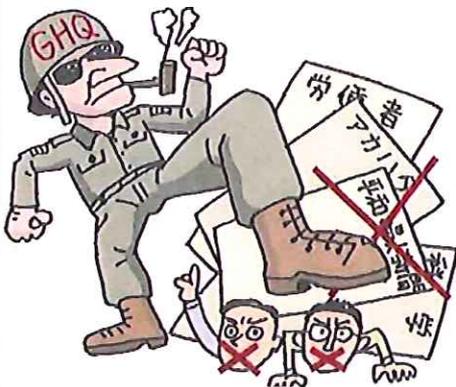
屈辱の調印模様

サンフランシスコ講和条約・安保条約は、こうして国民におしつけられた！



- 日米安保条約の内容は、まったく国民には知らせなかった。
- 安保条約の内容や、講和条約調印の直後に安保条約の調印を知っていたのは、6人の全権大使の中で吉田茂首相だけ。
- あまりの「屈辱調印」に、署名したのは全権大使6人中、吉田茂首相ただ一人だった。

①事実上の戒厳令下で



1950年から51年にかけて1465紙の機関紙が発行停止処分、4391人逮捕。レッドバージで約12000名の労働者追放。全国労働組合連合協議会（全労連）に解散命令。

②国民には中身も知らせず

安保条約については、外部に対しては、なお、交渉を続けているとの建前でいきたい。 1951.9.2

ダレス米特使

吉田首相



講和条約は調印の2ヵ月前に公表。安保条約は調印後に公表！

③吉田首相の受諾演説はアメリカ側が全面手直し

とにかく、それはよくなかった。私の同僚数人が手を入れた。対日理事会代表シーボルト



④受諾演説をアメリカの指示で急ぎよ日本語に

君は英語がへただから日本語で。
アチソン米國務長官



⑤安保条約はこっそりと調印

9月8日に安保条約の調印を行うことは7日夜11時にアメリカ側から知らされた。



講和条約調印の5時間後に米陸軍第6軍司令部下士官集会場舞踏室でひそかに調印



6人の日本全権大使で安保条約の内容やこの日調印を行うことを知っていたのは吉田だけ。苫米地（とまべち）、徳川の二人は調印式にも参加しなかった。日本側は吉田一人だけが署名した。

「署名日をずらすとができるのか!？」

全権団の一員であった国民民主党最高委員長の苫米地義三氏は、後に次のように述べています。「安保条約の締結は…時の首相吉田氏が、1人で取り決められたものである。…私は断った。その理由は、事前審議もなく、出先で簡単に決められる性質のものではない。ましてこの条約は不平等条約だ」――

